

# 第50回 全国トラックドライバー・コンテスト

## 学科競技

# 問題用紙

(競技時間：60分間)

部門 4トン・11トン・トレーラ・女性

氏名

### 注意事項

- ① 解答用紙に書かれている受験番号、氏名を確認すること。  
受験番号は「『部門コード』 - 『ゼッケン番号(2桁(例：青森県=02))』」となる。

部門	部門コード
4トン部門	B
11トン部門	C
トレーラ部門	T
女性部門	W

例) トレーラ部門の青森県代表の選手の場合、受験番号は「T - 02」となる。

- ② 解答はすべて別紙の解答用紙(マークシート方式)に記入すること。
- ③ 解答用紙(マークシート方式)は、鉛筆を使用して必要な箇所にマークすること。なお、誤ってマークした場合は、跡の残らないように消しゴムで消すこと。
- ④ この問題用紙は、試験開始の合図があるまで開かないこと。
- ⑤ 問題用紙を一通り見て、印刷の不鮮明なところがあれば挙手をして係員に申し出ること。
- ⑥ 問題用紙に、メモ、計算等を書き込んでも差し支えない。問題用紙は選手がそのまま持ち帰ること。
- ⑦ 試験開始45分経過後より退室してよいが、解答用紙は机上に伏せて、他の選手の妨げにならないよう静かに退室すること。一度退室したら再度入室は認めない。
- ⑧ 時間については、試験終了10分前と5分前に終了の予告をする。
- ⑨ 落とした筆記用具の拾得等、試験時間中に何らかの問題が生じた場合は、挙手をして係員に申し出ること。

# I 法規 (40 問)

## 【4 肢択一式問題】

問 1. 追越しの禁止に関する次の記述のうち、誤っているものを 1 つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- 1 標識や標示で追越しが禁止されていない場所でも、道路の左側部分の幅が 6 メートル以上の道路では、道路の右側部分にはみだして追越しをすることはできない。
- 2 横断歩道とその手前 30 メートル以内の場所は追越しが禁止されている。
- 3 勾配の急な上り坂や下り坂は追越しが禁止されている。
- 4 道路のまがりかど付近では追越しが禁止されている。

問 2. 速度に関する次のア～エの記述のうち、正しいものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア 道路標識等により速度が指定されていない一般道路における大型貨物自動車の法定最高速度は 60 キロメートル毎時である。
- イ 道路標識等により速度が指定されていない高速自動車国道における中型貨物自動車の法定最高速度は 100 キロメートル毎時である。
- ウ 高速自動車国道において、本線車線が道路の構造上往復の方向別に分離されていない区間で道路標識等により速度が指定されていない場合の最高速度は、自動車の種別にかかわらず 60 キロメートル毎時である。
- エ 道路標識等により速度が指定されていない自動車専用道路における最高速度は、自動車の種別にかかわらず 60 キロメートル毎時である。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問3. 踏切に関する次のア～エの記述のうち、誤っているものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア 踏切の警報機が鳴り始めたら、遮断機が降り始める前であっても踏切に進入してはならない。
- イ 踏切の前方の交通が混雑しているため、踏切内で停止するおそれがあるときは、徐行して進行しなければならない。
- ウ 信号機のない踏切を通過しようとするときは、踏切の直前で停止し、かつ、安全であることを確認した後でなければ進行してはならない。
- エ 信号機のある踏切で青信号の場合は、一時停止の必要はないが、安全確認は行わなければならない。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問4. 運転者の遵守事項に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- 1 児童、幼児等の乗降のため、停車している通学通園バスの側方を通過するときは、一時停止し、又は徐行して安全を確認する。
- 2 監護者が付き添わない児童若しくは幼児が歩行しているときは、一時停止し、又は徐行して、その通行又は歩行を妨げないようにする。
- 3 車両等を離れるときは、その原動機を止め、完全にブレーキをかける等当該車両等が停止の状態を保つため必要な措置を講ずる。
- 4 貨物の積載を確実に行う等積載している物の転落若しくは飛散を防ぐため必要な措置を講ずる。

【○×正誤式問題】

次の問5から問40までの設問について、正しいと思うものについては解答用紙の○の欄に、誤っていると思うものについては解答用紙の×の欄に、マークを付けなさい。

問5. 車両総重量が2トン以下の自動車を、その3倍以上の車両総重量の自動車でロープ等で牽引するときの法定最高速度は、40キロメートル毎時である。

問6. この標識は、Y形道路交差点があることを示している。



問7. 交通整理の行なわれていない交差点で、交差道路が優先道路であるときは、徐行する。

問8. 駐車した場合、車の右側に3.5メートル以上の余地がなくなる場所での駐車はできないが、貨物の積卸しを行なう場合で運転者がすぐに運転できるときは駐車できる。

問9. 「放置車両」とは、違法駐車と認められる場合における車両であって、その運転者がこれを離れて直ちに運転することができない状態にあるものをいう。

問10. 昼間でも、視界が高速道路では200メートル以下、その他の場所では100メートル以下であるような暗い場所を走行するときは、前照灯などを点灯しなければならない。

問11. 道路外の施設に出入するためやむを得ず路側帯を横断するときは徐行する。

問12. 過労、病気、薬物の影響等により、正常な運転ができないおそれがある状態では車両等を運転してはならない。

問13. 道路の左側部分に設けられた安全地帯の側方を通過する場合において、安全地帯に歩行者がいるときは一時停止し、歩行者がいないときは徐行する。

- 問 14. 20 歳に満たない者は、準中型免許を取得できない。
- 問 15. 左折するときは、あらかじめその前からできる限り道路の左側端に寄って、かつ、できる限り道路の左側端に沿って速やかに進行しなければならない。
- 問 16. 交通整理の行われていない左右の見とおしがきかない交差点では、優先道路を走行している場合を除いて徐行する。
- 問 17. 車両は、一方通行路を通行するときでも、道路の中央から左の部分を通行しなければならない。
- 問 18. 横断しようとしている歩行者や自転車がいるかいないか明らかでない横断歩道に接近するときは、警音器で注意を促しながら進行する。
- 問 19. 右左折や進路変更等をするために合図を出したときは、それらの行為が終わるまで、合図を継続しなければならない。
- 問 20. 危険を防止するためやむを得ない場合を除いて、急停止や急減速となるような急ブレーキをかけてはならない。
- 問 21. 道路交通法における自動車の種類は、大型自動車、中型自動車、準中型自動車、普通自動車、大型特殊自動車、大型自動二輪車、普通自動二輪車、小型特殊自動車に区分されている。
- 問 22. この標識のある場所は、道幅が 2.2 メートルであることを示している。

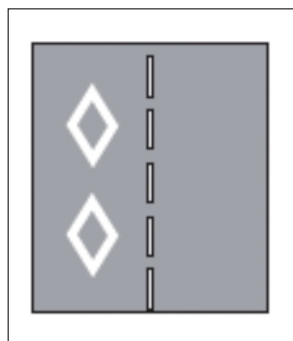


- 問 23. 右折しようとする車両が右側端に寄ろうとして合図をした場合は、その後方にある車両は、急ブレーキ等で避けなければならない場合を除いて、合図をした車両の進路変更を妨げてはならない。

- 問 24. 警察官は、過積載と認められる車両が運転されているときは、当該車両を停止させ、積載物の重量を測定することができる。
- 問 25. 「道路標示」とは、道路の交通に関し、規制又は指示を表示する標示板をいう。
- 問 26. 勾配の急な上り坂や下り坂は徐行する。
- 問 27. 自動車（大型自動二輪車、普通自動二輪車を除く）に積載できる積載物の幅は、自動車の幅と同じで、かつ、車体の左右からはみ出してはならない。
- 問 28. 警察署長から許可証の交付を受けて歩行者用道路を通行するときは、許可証を携帯する。
- 問 29. 赤色の点滅信号の場合は、車両は他の交通に注意して進行する。
- 問 30. 道路混雑等により、横断歩道に入った場合にその部分で停止することとなるおそれがあるときは、横断歩道に入ってはならない。
- 問 31. 高速自動車国道等で自動車を運転しようとするときは、あらかじめ、燃料、冷却水若しくは原動機のオイルの量又は貨物の積載の状態を点検しなければならない。
- 問 32. 標識で転回が禁止されていない交差点において、対面する信号が赤でも青色の右折矢印信号の場合は右折と転回ができる（軽車両や二段階右折が指定されている原動機付自転車を除く）。
- 問 33. 自動車専用道路の最低速度は、50 キロメートル毎時である。
- 問 34. 他の車を追い越そうとするとき、その右側を通行しなければならず、左側を通行してはならない。
- 問 35. 転回しようとするときは、その行為をしようとするときの3秒前のときに合図をする。

問 36. 標識等で警音器の使用が定められている場所以外では、危険を避けるためのやむを得ない場合を除いて、警音器を使用してはならない。

問 37. この道路標示は、前方に横断歩道又は自転車横断帯があることを示している。



問 38. 環状交差点で右折や左折をするときは徐行しなければならないが、直進する場合には徐行しなくてもよい。

問 39. トンネルであっても、車両通行帯がある場合は駐停車できる。

問 40. 夜間に対向車とすれ違う場合において、他の車両等の交通を妨げるおそれがあるときは、前照灯を減光するか下向きに切り換える。

## Ⅱ 構造機能 (20 問)

### 【4 肢択一式問題】

問 41. 後部反射器に関する次のア～エの記述のうち、誤っているものはいくつあるか。  
解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア 後部反射器（被牽引自動車に備えるものを除く。）の反射部は、三角形以外の形状であること。
- イ 後部反射器は、夜間にその後方 100 メートルの距離から走行用前照灯で照射した場合に、その反射光を照射位置から確認できるものであること。
- ウ 後部反射器による反射光の色は、赤色であること。
- エ 後部反射器は、反射器が損傷し、又は反射面が著しく汚損しているものでないこと。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問 42. 警音器に関する次の記述のうち、誤っているものを 1 つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- 1 自動車（被牽引自動車を除く。）には、警音器を備えなければならない。
- 2 自動車（緊急自動車を除く。）には、歩行者の通行その他の交通の危険を防止するため自動車が右左折、進路の変更若しくは後退するときその旨を歩行者等に警報するブザなど法令で規定する装置を除いて、車外に音を発する装置であって警音器と紛らわしいものを備えてはならない。
- 3 警音器の警報音発生装置の音は、自動的に断続するものでないこと。
- 4 警音器の警報音発生装置は、運転者が運転者席において、その音の大きさ又は音色を容易に変化させることができるものであること。



問 43. 次のア～エの自動車のうち、道路運送車両法で規定する「自動車の種別」に当てはまらないものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア 大型自動車
- イ 中型自動車
- ウ 普通自動車
- エ 小型自動車

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問 44. 事業用貨物自動車の点検整備に関する次のア～エの記述のうち、正しいものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア 自動車運送事業の用に供する自動車は、3か月ごとに自動車点検基準により点検しなければならない。
- イ 点検整備記録簿の保存期間は、車両総重量が8トン以上の自動車については2年間、それ以外の自動車については1年間である。
- ウ 日常点検は、1日1回、運行の開始前に行わなければならないが、運行の開始が当該自動車の所属する営業所以外の場所であるときは省略することができる。
- エ 運行開始前の日常点検の結果により、運行の可否を決定するのは整備管理者である。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

【○×正誤式問題】

次の問 45 から問 60 までの設問について、正しいと思うものについては解答用紙の○の欄に、誤っていると思うものについては解答用紙の×の欄に、マークを付けなさい。

- 問 45. タイヤの溝の深さの点検は、毎回の運行前に義務づけられている。
- 問 46. 衝突被害軽減ブレーキは、走行速度や周囲の環境等には左右されず、常に正確に障害物を認知することができる。
- 問 47. 非常信号用具は、夜間 100m の距離から確認できる赤色の灯光を発するものであること。
- 問 48. すべての非常点滅表示灯は、同時に作動する構造であること。
- 問 49. ホイールの 3 か月ごとの点検では、ホイール・ナット及びホイール・ボルトが緩んでいないか点検しなければならない。
- 問 50. 番号灯は、夜間後方 50 メートルの距離から自動車登録番号標、臨時運行許可番号標、回送運行許可番号標又は車両番号標の数字等の表示を確認できるものであること。
- 問 51. 自動車（牽引自動車のうち告示で定めるものを除く）の輪荷重は、10 トンを超えてはならない。
- 問 52. すれ違い用前照灯は、その全てを同時に照射したときに、夜間にその前方 20 メートルの距離にある交通上の障害物を確認できる性能を有すること。
- 問 53. 自動車は、告示で定める方法により測定した場合において、幅 2.8 メートルを超えてはならない。
- 問 54. 12 か月ごとの点検では、3 か月ごとの点検箇所は特に異状が認められない場合には省略することができる。

- 問 55. 方向指示器は、毎分 60 回以上 120 回以下の一定の周期で点滅するものであること。
- 問 56. 自動車の最小回転半径は、最外側のわだちについて 12 メートル以下でなければならない。
- 問 57. 停止表示器材による反射光の色は、橙色であり、かつ、当該停止表示器材による蛍光の色は、赤色又は橙色であること。
- 問 58. 道路運送車両の保安基準でいう「最遠軸距」とは、自動車の最前部の車軸中心（セミトレーラにあっては、連結装置中心）から最後部の車軸中心までの水平距離をいう。
- 問 59. 車両総重量 8 トン以上の自動車は、毎回の運行前にディスク・ホイールの取付状態を点検しなければならない。
- 問 60. 貨物の運送の用に供する普通自動車及び車両総重量が 7 トン以上の普通自動車（告示で定める自動車を除く。）の両側面には、告示で定める基準に適合する巻込防止装置を備えなければならない。

### Ⅲ 運転常識 (20 問)

#### 【4 肢択一式問題】

問 61. 事業用貨物自動車の運転者に対する「点呼」に関する次のア～エの記述のうち、正しいものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア 乗務前及び乗務後の点呼は対面点呼が原則だが、輸送の安全の確保に関する取組が優良であると認められる営業所において、対面による点呼と同等の効果を有するものとして国土交通大臣が定めた機器による点呼を行うことができる。
- イ 乗務前及び乗務後の点呼のどちらかが対面で行うことができない乗務を行う運転者に対しては、当該点呼のほかに、当該乗務の途中において少なくとも 1 回電話その他の方法により点呼を行わなければならない。
- ウ アルコール検知器による確認の結果、酒気帯びの程度が道路交通法施行令第 44 条の 3 に規定する血液中のアルコール濃度  $0.3 \text{ mg} / \text{ml}$  又は呼気中のアルコール濃度  $0.15 \text{ mg} / \text{l}$  に満たない場合は、乗務して差し支えない。
- エ 点呼の記録は、1 年間保存しなければならない。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問 62. 坂道・カーブの走行に関する次のア～エの記述のうち、正しいものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア 下り坂では低速のギアを用い、エンジブレーキを活用する。
- イ 近くに待避所のない坂道ですれ違いが難しいときは、上り坂での発進が難しいため、下りの車が上りの車に道を譲る。
- ウ カーブを走行するときは、カーブに入ってから十分にスピードを落とす。
- エ カーブを通行するとき、車の内輪差のため、後車輪が路肩からはみ出すおそれがあるので注意する。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問 63. 「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」(改善基準告示)に定める連続運転時間に関し、次のうち改善基準に違反しているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

1	運転時間 4時間				休憩時間 30分		運転再開
2	運転時間 1時間	休憩時間 10分	運転時間 2時間	休憩時間 10分	運転時間 1時間	休憩時間 10分	運転再開
3	運転時間 2時間		休憩時間 15分	運転時間 1時間	休憩時間 10分	運転時間 1時間	運転再開
4	運転時間 3時間			休憩時間 20分	運転時間 1時間	休憩時間 10分	運転再開

休憩時間  
5分

問 64. 乗務等の記録に関する次のア～エの記述のうち、誤っているものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア 車両総重量が8トン以上又は最大積載量が5トン以上の事業用自動車に乗務した場合は、貨物の積載状況を記録する。
- イ 車両総重量が8トン以上又は最大積載量が5トン以上の事業用自動車に乗務した場合で、荷主の都合による待機時間が1時間未満の場合は、乗務記録に記載しなくてもよい。
- ウ 休憩又は睡眠をした場合にあっては、その地点及び日時を記録する。
- エ 乗務等の記録の保存期間は、2年間である。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

## 【○×正誤式問題】

次の問 65 から問 80 までの設問について、正しいと思うものについては解答用紙の○の欄に、誤っていると思うものについては解答用紙の×の欄に、マークを付けなさい。

- 問 65. 事業者には労働者に対して毎年健康診断を実施することが義務づけられているが、健康診断を受診するかしないかは労働者の自由であり、受診義務はないので健康に自信がある場合は受診しなくてもよい。
- 問 66. 休息期間とは、勤務終了後に継続して6時間以上与えるものをいう。
- 問 67. 貨物自動車運送事業者の運転者は、運行指示書を携行する乗務において運行指示書の記載事項に変更が生じた場合には、最寄りの営業所で記載事項が変更された運行指示書を受け取らなければならない。
- 問 68. 霧のときは、中心線やガードレールや前の車の尾灯を目安にし、速度を落として運転する。
- 問 69. 高速になると視力が低下し、特に遠くのものが見えにくくなる。
- 問 70. 拘束時間は、労使協定があるときは、1年のうち6箇月までは、1年間についての拘束時間が3,516時間を超えない範囲内において、320時間まで延長することができる。
- 問 71. 対向車のライトがまぶしいときは、視点をやや右前方に移して目がくらまないようにする。
- 問 72. 高速道路では、あやまって本線車道などに進入し、反対方向から進行してくる車や、歩行者がいることがあるため、道路情報板などの情報に注意して走行する。
- 問 73. 貨物を積載するときは、偏荷重が生じないように積載する。
- 問 74. 前の車に続いて踏切を通過するときは、一時停止をしなくてもよい。

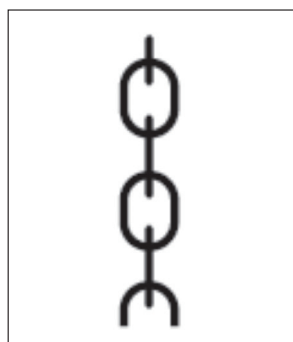
問 75. 追越しなどのため自転車のそばを通るときは、自転車との間に安全な間隔を空けるか、徐行する。

問 76. 貨物自動車運送事業に従事する運転者の休日労働は、2週間に2回を超えず、拘束時間及び最大拘束時間の限度も超えないものとする。

問 77. 60歳以上の運転者については、国土交通大臣が認定する機関による国土交通大臣が告示で定める高齢者の適性診断（適齢診断）を受診しなければならない。

問 78. 夜間は速度感がにぶって、速度が遅くなりやすい。

問 79. この荷扱い指示マークは、吊り位置を示している。



問 80. ぬれたアスファルト路面を走るときは、摩擦抵抗が小さくなり制動距離が短くなる。

# 第50回 全国トラックドライバー・コンテスト 学科競技解答

(公社)全日本トラック協会

## I. 法規

問	選択肢			
	1	2	3	4
1			3	
2			3	
3	1			
4	1			

問	○	×
5	○	
6		×
7	○	
8	○	
9	○	
10		×
11		×
12	○	
13		×
14		×
15		×
16	○	
17		×
18		×
19	○	
20	○	

問	○	×
21	○	
22		×
23	○	
24	○	
25		×
26		×
27	○	
28	○	
29		×
30	○	
31	○	
32	○	
33		×
34	○	×
35		×
36	○	

問	○	×
37	○	
38		×
39		×
40	○	

## II. 構造機能

問	選択肢			
	1	2	3	4
41	1			
42				4
43		2		
44		2		

問	○	×
45		×
46		×
47		×
48	○	
49	○	
50		×
51		×
52		×
53		×
54		×
55	○	
56	○	
57		×
58	○	
59	○	
60		×

## III. 運転常識

問	選択肢			
	1	2	3	4
61		2		
62			3	
63			3	
64		2		

問	○	×
65		×
66		×
67		×
68	○	
69		×
70	○	
71		×
72	○	
73	○	
74		×
75	○	
76		×
77		×
78		×
79	○	
80		×

※ 問34は全員正解とした。